

● 調布をゆったり楽しくハッピーに!

わくわく

2018年
10月

13号

特集

この秋は カフェ& リサイクル ショップに おでかけ!



発行：調布市福祉作業所等連絡会
企画・編集：調布コミュニティビジネス推進委員会「調布アットホーム」
デザイン：(有)パンデコングラフィックス
撮影：表紙・原子尚之

調布市福祉作業所等連絡会ガイドブック わくわく

わくわく13号 2018年10月 発行 調布市福祉作業所等連絡会 調布市市田2-2-6-8-101 TEL.042-481-3201 fuku-tennaku@bz1.com.ne.jp
企画・編集 調布コミュニティビジネス推進委員会「調布アットホーム」

life style

このページでは、障がい者の生活の1コマをご紹介します。



「自転車」と「農作業」を楽しんでいます

1994年に交通事故で障がいを負い、つづじヶ丘にある作業所「創造印刷」を利用する山田賢一さんは、きさくで明るく、誰とでも話せる人気モノ。周りからは「ヤマケンさん」と呼ばれています。

今は自転車と、作業所で行う農作業にはまっています。自転車はクロスロードバイクとママチャリの2台を所有。通所に使うほか、友人と自宅周辺の「カフェめぐり」や、市内の「自転車専門店めぐり」を楽しんでいます。

また、自転車好きが高じて「弱虫ペダル」「スマイリング岩熊自転車」など自転車漫画にもはまり、家で読んでいる時間も「幸せ」と笑います。

農作業は、「創造印刷」が敷地内に「創造農園」を開設したのがきっかけ。土地の開墾から関わり、今は、きゅうり、なす、にんじん、トマト、ジャガイモ、パジルなどさまざまな野菜を無農薬で育てています。

汗をかき、愛情を込めた野菜が成長していく姿を見られるのが魅力だそう。収穫した野菜は、創造印刷の施設前やグループ施設で仲間と販売しています。最近では2つの「好き」が高じて、自転車ファッションで農作業を行っています。なんだかイタリアン！ 楽しそうですね。

※次号「わくわく14号」は、2019年3月に発行する予定です。